

世界言語研究センターとは



特別寄稿

高橋 明*

What is the Research Center for World Languages ?

Key Words : world languages, culture, society

世界言語研究センターは、2007年10月大阪大学と旧大阪外国語大学の統合のシンボルの一つとして、世界各地の言語と言語を基底とした文化・社会について研究を進め、その成果を大阪大学のみならず広く社会に提供することを目的として、新たに箕面キャンパスに設置された組織です。本センターは新外国語学部に専攻語として開設されている世界の25の言語とそれら言語を基底とする世界各地の文化・社会の研究を専門とする日本人専任教員55名、そしてネイティブ教員27名を擁する世界でも有数の規模を持つ研究組織です。言うまでもなく言語研究はあらゆる人文系の学問の根幹を成していますが、今後は、世界に冠たる総合大学である大阪大学という新たな環境の中で、さまざまな理系の先端的教育・研究分野との連携の基に常に新たな研究分野を開拓していきます。

世界には従来の枠組みではとらえきれない重要な問題を抱えた地域でありながら、言語と言語を基底とした文化・社会についての研究の蓄積が進んでいない国や文化圏が多く残されています。たとえば、現在世界が直面している地球環境問題一つをとって見ても、問題の深刻な影響にさらされている地域や国があり、そこでの対応が世界の将来を決める重要

な意味を持っています。そうした多くの地域や文化圏の言語と文化・社会についてのわが国における研究の蓄積は、取り組むべき課題がまったく新しいものであるだけに、十分なものとは決して言えません。世界言語研究センターは、こうした地域の言語の研究に率先して取り組み、その言語研究の成果を基に、さらに文化と社会の研究を切り開いていきます。

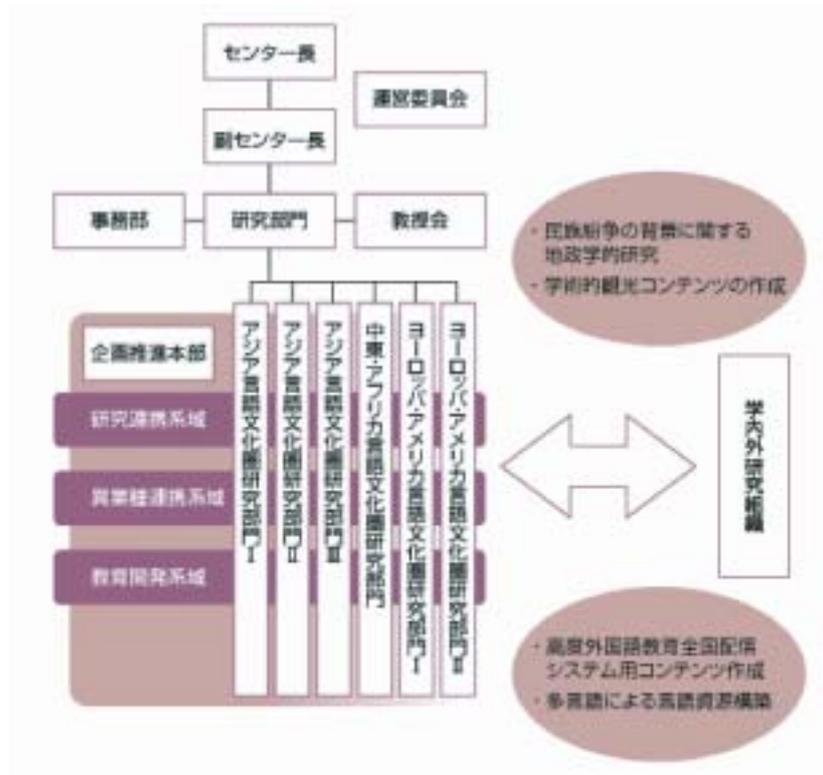
世界に頻発する民族紛争を目の前にしながら、その地域の言語に関するまともな文法書や辞書が一冊も存在しない地域は世界に今も多くあります。本センターは、「紛争地域の地政学的研究」プロジェクトを通じて、そのような言語と文化についての研究環境を整備しています。また、世界各地の基幹言語でありながら、わが国では十分な教育の機会に恵まれない多くの言語について「高度外国語教育全国配信システムの構築」プロジェクトを通じて、自学自習を可能とする言語コンテンツの作成にも取り組んでいます。さらに、平成20年4月より「社会人を対象とした学士レベルの言語教育プログラムの提供」プロジェクトへの取り組みが始まります。ここでは、日々進化するIT環境下での実務的教養としての言語教育を英語・中国語・ベトナム語で展開し、「地域に生き、世界に伸びる」大阪大学の発展に貢献します。



*Akira TAKAHASHI

1953年12月生
大阪外国語大学大学院西アジア語学専攻
(1983年)
現在・大阪大学世界言語研究センター
センター長、教授 Ph.D ヒンディー語
学・文学
TEL : 072-730-5294
FAX : 072-730-5294
E-mail : takahasi@world-lang.osaka-u.ac.jp

あらゆる人文系の基礎である言語研究を行う世界言語研究センターは、今後はその研究成果を文系、理系を問わず多様な学問分野と融合して、さらに活用・発展させて行きたいと考えています。そのためにも、大阪大学の理系の各部署の先生方には、今後とも一層のご支持、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



世界言語研究センター組織図